

## 製品安全データシート

管理番号:N0-6783101

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名(商品名)	テイクワン L
会社名	日本曹達株式会社
住所	〒100-8165 東京都千代田区大手町2-2-1
担当部門	機能化学品エコケアG
TEL	03-3245-6281
FAX	03-3245-6221
緊急連絡先	機能化学品エコケアG
TEL	03-3245-6281
作成日	1995年6月1日
改訂日	2010年2月25日(03版)

## 2. 危険有害性の要約

## 【GHS分類】

火薬類	分類対象外
可燃性/引火性ガス	分類対象外
可燃性/引火性エアゾール	分類対象外
支燃性/酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	区分外
可燃性固体	分類対象外
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	区分外
自然発火性固体	分類対象外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性	分類できない
急性毒性:経口	区分外
急性毒性:経皮	区分外
急性毒性:吸入(ガス)	分類対象外
急性毒性:吸入(蒸気)	分類できない
急性毒性:吸入(粉塵・ミスト)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 1A-1C
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 1
呼吸器感作性	区分 1
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器/全身毒性(単回曝露)	区分 1(呼吸器系)
特定標的臓器/全身曝露(反復曝露)	区分 1(歯、呼吸器系)
吸引性呼吸器有害性	分類できない
水生毒性(急性)	区分 2
水生毒性(慢性)	区分外

【GHSラベル要素】  
絵表示又はシンボル

## 注意喚起語

感嘆符  
腐食性  
健康有害性  
危険  
吸入すると有害  
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷  
重篤な眼の損傷  
吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ  
呼吸器の障害  
長期又は反復曝露による歯、呼吸器系の障害  
水生生物に毒性

## (予防策)

1) 予防策については、「7. 取扱いおよび保管上の注意」、「8. 暴露防止措置及び保護措置」を参照。  
2) 屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
3) ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。  
4) 保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。  
5) 取り扱い後は、よく手を洗うこと。  
6) 換気が十分でない場合には、呼吸保護具を着用すること。  
7) この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。  
8) 環境への放出を避けること。

## (応急処置)

1) 応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の処置」を参照。  
2) 吸入した場合：空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
3) 皮膚又は髪に付着した場合：直ちに汚染した衣服を脱ぐこと／取り除くこと。皮膚を流水／シャワーで洗うこと。  
4) 汚染された衣服を再利用する場合には、洗濯をすること。  
5) 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。その後も洗浄を続けること。  
6) 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。  
7) 呼吸に関する症状が出た場合や暴露した場合には、医師に連絡すること。  
8) 気分が悪い場合は、医師の診断／手当てを受けること。

## (保管)

1) 保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。  
2) 施錠して保管すること。  
3) 直射日光の当たらない、換気の良い場所に保管すること。  
4) 酸性なので、アルカリ性の化学物質と同じ場所で貯蔵又は保管しないこと。  
5) 可燃性物質、還元剤、強酸化剤、金属等から離して保管すること。

## (廃棄)

1) 廃棄については、「13. 廃棄上の注意」参照。  
2) 内容物や容器を廃棄する場合は、法に従い、産業廃棄物処理業者等に処理を委託すること。

## 3. 組成、成分情報

区別	混合物
化学名	塩化水素を含む尿石除去剤
組成情報	
《塩酸のデータ》	
CAS No.	7647-01-0
含有量	22%
化審法	官報公示整理番号 (1)-215
安衛法	なし(公表化学物質扱い)
《水、着色剤、腐食防止剤》	
CAS No.	記載せず
含有量	78%

## 4. 応急措置

飲み込んだ場合	意識があっても無理に吐かせてはならない。水で口の中をすすぎ、速やかに医師の手当を受ける。
吸入した場合	新鮮な空気の場所に移し、患者を毛布等にくるんで安静にし、呼吸しやすい姿勢で休息させる。速やかに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合	直ちに汚染された衣服や靴を脱がせ、付着又は接触部を多量の水で十分に洗い流す。広範囲にわたる薬傷の場合は、安静にさせ、発現する症状に応じて吸入した場合と同様な処置を行う。
眼に入った場合	直ちに多量の水道水(流水)で15分以上洗眼(眼球、まぶたの隅々まで)した後、速やかに眼科医の手当てを受ける。

## 5. 火災時の処置

消火方法	不燃性であるが、容器は燃える。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周辺に散水して冷却する。
------	--

## 6. 漏出時の措置

- 1) 漏出した場所の周辺にロープを張り、「立入禁止」の措置を行い、風下の人を退避させる。
- 2) 作業の際には必ず保護眼鏡、防毒マスク、保護手袋、保護衣等の保護具を着用し、風下で作業をしない。
- 3) 少量の場合は、漏出した液は土砂に吸収させて密閉可能な容器に回収する。
- 4) 多量に漏出した場合は、盛土等で囲って流れを止め吸収させるか、安全な場所に導き遠くから徐々に注水しある程度希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和する。これを多量の水を用い洗い流す。洗い流す場合、濃厚な廃液が下水溝、河川、田畑等へ流入しないよう注意する

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 必ず換気設備のある場所で取り扱い、できるだけ風上で作業をする。</li> <li>2) 容器の開栓はできるだけ短時間とし、できるだけ蒸気の発生、液洩れ、あふれ等をさせないように取り扱う。</li> <li>3) 吸入したり、眼や皮膚に接触したりしないようゴーグル型保護眼鏡、防毒マスク、ゴム手袋及びその他の保護具を必ず着用する。</li> <li>4) 酸性なので、塩素系の洗浄剤や漂白剤と混合・使用してはならない。</li> </ol>
保管	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) 直射日光の当たらない換気の良い場所に保管する。</li> <li>2) 酸性なので、アルカリ性の化学物質と同じ場所で貯蔵又は保管しない。</li> <li>3) 可燃性物質、還元剤、強酸化剤、金属等から離して保管する。</li> </ol>

## 8. 暴露防止措置及び保護措置

## 《塩酸のデータ》

厚生労働省管理濃度 設定されていない

許容濃度

## 《塩酸のデータ》

産業衛生学会 7.5mg/m<sup>3</sup>(2009年度)

ACGIH TLVs (CEIL) 2ppm(2008年)

設備対策

発生源の密閉化、又は局所排気装置を設置する。  
取り扱い場所の近くに、シャワー・洗眼器を設置することが望ましい。

眼の保護具

ゴーグル型(防毒マスクの場合は顔面シールドの着用を推奨する)

手の保護具

ゴム又はネオプレンゴム製

呼吸器用の保護具

酸性ガス用防毒マスク(漏洩時は空気呼吸器)

皮膚及び身体の保護具

ゴム衣、ゴム長靴、ゴム前掛け(ゴム衣がない場合)

## 9. 物理及び化学的性質

外観等

形状

液体

色

赤色透明

臭い

刺激臭

その他

発煙性あり

融点

データなし

粘度

1.23cst (20℃)

pH

1.31 (1%液 20℃)

溶解度

任意の割合で溶解(水)

比重

1.10(20℃)

## 10. 安定性及び反応性

安定性・反応性

- 1) 強酸性物質なのでアルカリ性物質と激しく反応し、発熱する。
- 2) 金属と反応し、可燃性の水素を発生する。水素は空気と混ざり合うと爆発するので注意する。

## 11. 有害性情報

総括的な有害性情報

- 1) 医薬用外劇物である。腐食性 眼に触れると強い刺激と痛みがあり、粘膜が激しく侵され失明することがある。皮膚に触れるとやけど(薬傷)を起こす。
- 2) 発煙性があり、吸い込むと呼吸器粘膜を侵す。多量に吸入すると肺水腫を起こすことがある。
- 3) 長期又は反復暴露の影響: 長期にわたる又は反復暴露により、歯、呼吸器を損傷する。
- 4) 製品に関する情報はない。構成成分の塩酸についての情報は、次のとおりである。
- 5) 塩化水素: IARCはグループ3、ACGIHはA4に分類されているが、ラット/マウスの発がん性試験では、発がん性を示す証拠は認められず、ヒトの疫学調査の多くは、がん発生と塩化水素暴露との関係に否定的である。

刺激性

《塩酸のデータ》

皮膚刺激性

皮膚刺激性試験で、1-4時間暴露により濃度次第で腐食性が認められた。(ウサギ) [\*01]

眼刺激性

ウサギを含めた複数の動物試験の結果、眼に対する重度の刺激性又は損傷性、腐食性を示した。(ウサギ) [\*01]

急性毒性

《塩酸のデータ》

急性経皮毒性	LD50(ウサギ):>5010mg/kg [*01]
急性経口毒性	LD50(ラット):238-277mg/kg [*01]
急性吸入毒性	LC50(ラット):0.42mg/L(4hr) [*01]

## 12. 環境影響情報

## 環境影響情報

- 1)本製品に関するデータはないが、塩酸に関するデータを次に示す。
- 2)完全に水に溶け、酸性のため、水生生物に毒性がある。植物の成長に有害である。

## 環境毒性

## 《塩酸のデータ》

## 急性魚毒性

LC50(オオミジンコ):0.492mg/L(48h) [\*02]

## 13. 廃棄上の注意

- 1) 攪拌しながら石灰乳、苛性ソーダ等の薄い水溶液中で中和した後、多量の水で希釈して流す。
- 2)内容を明確にした上で、産業廃棄物処理業者等に処理を委託する。

## 14. 輸送上の注意

- 1) 荷役作業は慎重丁寧にし、容器に打撃や衝撃を与えたり、手カギやフォークリフトの爪で突き刺したりしないよう行なう。
- 2) 輸送中に容器が転倒・転落しないように積載するとともに、休憩時等の盗難・紛失に注意する。
- 3) 1回で5t以上の量を車両で運搬する場合は、交替運転者、標識、保護具、緊急時の措置を記載した書面等、毒物及び劇物取締法に定められた事項を遵守する。

国連分類(クラス)

8 (腐食性物質)

国連分類(容器等級)

II

国連分類(国連番号)

3264(その他の腐食性物質(無機物)(液体)(酸性のもの))

## 15. 適用法令

## 《毒物及び劇物取締法》

劇物

## 《労働安全衛生法》

通知対象物

塩酸(政令番号98 塩化水素)

表示物質

非該当

特化則

第三類物質

## 《化学物質管理促進法》

非該当

## 《道路法》

長大・海底トンネル等輸送

制限物質

## 《輸出貿易管理令》

別表第2物質

その他の情報

- 記載内容の問い合わせ先 機能化学品エコケアG  
(TEL:03-3245-6281 FAX:03-3245-6221)
- MSDS引用文献
- 1) 化学防災指針集成 I 物質編 p. 1-349(1996)
  - 2) 国際化学物質安全性カード 日本語版 第一集 p120(1992)
  - 3) 毒劇物基準関係通知書 改訂増補版p22(1991)
  - 4) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances 1985～1986、p . 2717(1987)
  - 5) The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data、2nd. ed.、p .1896(1988)
  - 6) Chemical Safety Data Sheet、SD-39(1970)
  - 7) Dangerous Properties of Industrial Materials、7th ed.、p. 1900(1989)
- 各項引用文献
- [\*01] SIDS(2002)
  - [\*02] SIDS(2005)

記載内容は現時点で入手できた資料、情報データに基づいて作成していますが、含有量、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。又、注意事項は通常取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には用途・用法に適した安全対策を実施の上、利用してください。

中毒したときの緊急連絡先

(財)日本中毒情報センター

中毒情報センター中毒110番(大阪)  
072-727-2499(終日)

中毒情報センター中毒110番(つくば)  
029-852-9999(9～21時)